

# 福井県感染症発生動向調査速報

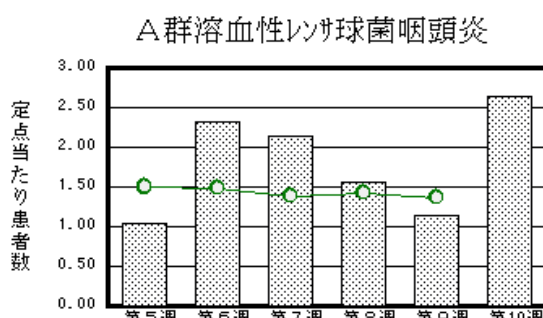
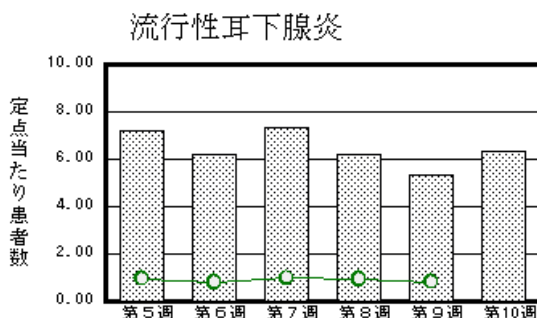
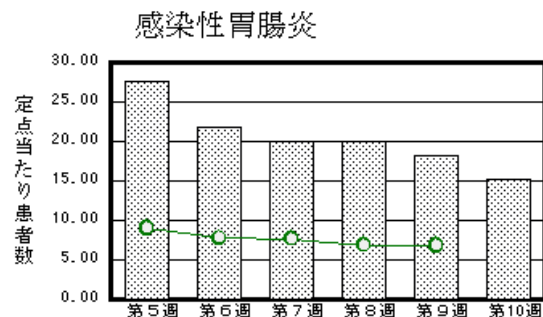
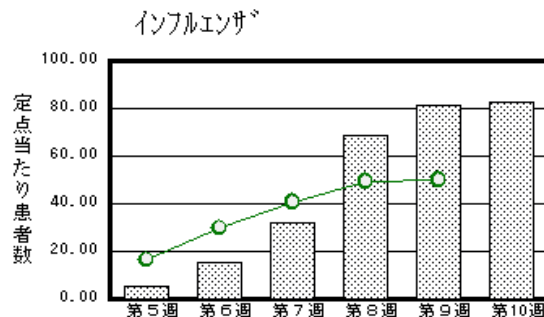
<<平成17年>>

<週報> 第10週 (平成17年3月7日～3月13日)  
 <月報> 第2月 (平成17年2月1日～2月28日)

発行日：平成17年3月15日  
 発行：福井県福祉環境部健康増進課  
 福井県衛生環境研究センター  
 kansen@erc.pref.fukui.jp

## 注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 インフルエンザ2,646名(82.69名) 感染性胃腸炎335名(15.23名) 流行性耳下腺炎140名(6.36名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎58名(2.64名) 水痘38名(1.73名) ( )内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ (2,646名) 感染性胃腸炎 (335名) 流行性耳下腺炎 (140名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (58名) 水痘(38名)
3. 【インフルエンザ】報告数は2,646名です。定点あたり患者報告数は増加しました(81.31名 82.69名)。地域別にみると丹南地区108.0名、二州地区89.50名、福井地区87.64名、奥越地区74.0、坂井地区65.33名、若狭地区14.0の順となっています。丹南・二州・福井・奥越・坂井地区は定点あたり30.0を超え警戒が必要です。流行拡大予防のためにうがい・手洗い・マスクの着用を励行しましょう。
4. 【感染性胃腸炎】報告数は335名です。定点あたり患者報告数はわずかに減少しました(18.18名 15.23名)。地域別にみると福井地区28.14名、奥越地区20.0名、坂井地区13.67名、二州地区9.33名、丹南地区5.6名の順となっています。
5. 【流行性耳下腺炎】報告数は140名です。定点あたり患者報告数は増加しました(5.36名 6.36名)。地域別にみると奥越地区9.0名、丹南地区8.4名、福井地区7.43名、坂井地区4.33名、二州地区4.0名の順となっています。
6. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は58名です。定点あたり患者報告数は増加しました(1.14名 2.64名)。地域別にみると奥越地区10.0名、丹南地区4.6名、福井地区2.0名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。  
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

## 感染症週報全国版の要点

2005年第8週号(2月21日～2月27日)要点

発生動向総覧	<第8週>マイコプラズマ肺炎の定点あたり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向
注目すべき感染症	<インフルエンザ>第8週の全国レベルの定点あたり報告数は49.2で、第3週以降大幅な増加が続いている
病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2004/05シーズン
速報	初の「サル」の細菌性赤痢の届出-茨城県/腸チフス2004年(2005年2月16日時点)/2004/05シーズンのB型インフルエンザウイルス分離状況-札幌市
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません。>
感染症の話	<インフルエンザ>「一般のかぜ症候群」とは分けて考えるべき「重くなりやすい疾患」であり、いまだ人類に残されている最大級の疫病である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	
患者	女性 1名	
主な症状	下痢、下血	
感染原因・感染経路	調査中	
平成17年	福井県	有症者3人、無症者1人(第10週:3月13日現在)
	全国	72人(第9週:3月6日現在)
平成16年同時期届出累計	有症者0人、無症者0人 全国累計48人	

1類感染症:報告はありませんでした。  
 2類感染症:報告はありませんでした。  
 4類感染症:報告はありませんでした。  
 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成17年 第10週 平成17年3月7日(月)~平成17年3月13日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(9週)
小児科 (22)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く) (32)	964 87.64	196 65.33	358 89.5	42 14	222 74	864 108	2646 82.69	2602 81.31	235343 50.00
	RSウイルス感染症									79 (8週)
	咽頭結膜熱	4 0.57			1 0.5	2 1	4 0.8	11 0.50	15 0.68	496 0.16
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	14 2.00		1 0.33		20 10	23 4.6	58 2.64	25 1.14	4187 1.37
	感染性胃腸炎	197 28.14	41 13.67	28 9.33	1 0.5	40 20	28 5.6	335 15.23	400 18.18	20652 6.77
	水痘	15 2.14		2 0.67	1 0.5	6 3	14 2.8	38 1.73	55 2.5	5089 1.67
	手足口病						1 0.2	1 0.05	1 0.05	448 0.15
	伝染性紅斑	4 0.57	4 1.33					8 0.36	3 0.14	629 0.21
	突発性発しん	5 0.71		2 0.67	1 0.5	3 1.5	1 0.2	12 0.55	10 0.45	1603 0.53
	百日咳									9 0.00
	風しん									16 0.01
	ヘルパンギーナ									113 0.04
	麻しん(成人麻しんを除く)									13 0.00
	流行性耳下腺炎	52 7.43	13 4.33	12 4	3 1.5	18 9	42 8.4	140 6.36	118 5.36	2536 0.83
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									19 0.03
	流行性角結膜炎	1 0.50						1 0.33	1 0.33	434 0.68
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17		6 0.01
	無菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17	1 0.17	11 0.02
	マイコプラズマ肺炎								1 0.17	120 0.26
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									5 0.01
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第8週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成17年第10週 平成17年3月7日(月)～平成17年3月13日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	15	6ヶ月未満			1	7	1			1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	49	12ヶ月未満				27	4			6					2	12ヶ月未満								
1歳	141	1歳		2	2	62	9			4					10	1歳								
2歳	162	2歳		2	3	41	6			1					16	2歳								
3歳	197	3歳		1		23	8								27	3歳								
4歳	213	4歳		4	7	26	3	1							27	4歳				1				
5歳	249	5歳		1	12	28	3								22	5歳								
6歳	240	6歳			11	26	2		4						21	6歳								
7歳	192	7歳		1	3	10			2						10	7歳								
8歳	150	8歳			8	19			1						1	8歳				1				
9歳	107	9歳			7	11	1								1	9歳								
10～14歳	188	10～14歳			3	24			1						1	10～14歳								
15～19歳	23	15～19歳				9	1									15～19歳								
20～29歳	146	20歳以上			1	22									2	20～29歳		1						
30～39歳	232															30～39歳								
40～49歳	116															40～49歳								
50～59歳	103															50～59歳								
60～69歳	68															60～69歳								
70～79歳	31															70歳以上								
80歳以上	24																							
合計	2646	合計	0	11	58	335	38	1	8	12					140	合計		1	1	1				
前期計	2602	前期計	0	15	25	400	55	1	3	10					118	前期計		1		1	1			
当期間/前期	1.02	当期間/前期		0.73	2.32	0.84	0.69	1	2.67	1.2	***	***	***	***	1.19	当期間/前期	***	1	***	1	0	***	***	***
増減数	44	増減数		-4	33	-65	-17		5	2					22	増減数			1		-1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき



福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症月報分)

平成17年2月

[患者数:人]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	1	2	3		4		1		9	2	2	/			
坂井	0											0				
二州	1		5						1			6				
若狭	0											1				
奥越	0											1				
丹南	1							2		2		1				
合計	4	1	7	3		4		3	1	11	8	6	33	9		42
前期計	4	1	6	2		4		4	1	11	7	6	21	13	1	35
当期間/前期		1	1.17	1.5	***	1	***	0.75	1	1	1.14		1.57	0.69	0	1.2
増減数			1	1				-1			1		12	-4	-1	7

[定点当たり患者数:人/定点]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	1	1	2		2		1		5	1	2	/			
坂井	0											0				
二州	1		5						1			6				
若狭	0											1				
奥越	0											1				
丹南	1							2		2		1				
合計	4	0.25	1.75	0.75	0	1	0	0.75	0.25	2.75	2	6	5.5	1.5	0	7
全国2月	920	1.16	1.68	0.34	0.51	0.27	0.21	0.97	0.23	2.74	2.63	470	3.88	1.15	0.08	5.11

[年齢階層別患者数:人]

	STD	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
0歳														1		1
1歳~4歳														3		3
5歳~9歳													1			1
10歳~14歳																
15歳~19歳		1	3						1	1	4					
20歳~24歳			2					1		1	2					
25歳~29歳			2			2		1		3	2			1		1
30歳~34歳													1			1
35歳~39歳						1				1						
40歳~44歳								1		1						
45歳~49歳				2						2						
50歳~54歳						1				1						
55歳~59歳													4			4
60歳~64歳				1						1			2			2
65歳~69歳													5			5
70歳以上													20	4		24
合計		1	7	3		4		3	1	11	8		33	9		42
前期計		1	6	2		4		4	1	11	7		21	13	1	35
当期間/前期		1	1.17	1.5	***	1	***	0.75	1	1	1.14		1.57	0.69	0	1.2
増減数			1	1				-1			1		12	-4	-1	7

\*\*\*は前期計が 0 のとき